

千葉県

JAきみつ モデル担い手生産者

生産

販売

加工・業務用作物の導入と 買取販売提案で、**所得314%アップ**

農業者の
所得増大

JAきみつ（君津市・富津市・袖ヶ浦市）では、2016年度より「JAきみつ第五次農業振興計画」を策定し、**生産拡大**に向けた加工・業務用作物の導入、**販売拡大**に向けた買取販売の提案など、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、加工・業務用キャベツに取り組んだモデル担い手生産者の所得は、2019年度は552万円になり2017年度と比べ、**314%増加を実現**しました。

【JAの具体的な取り組みと成果】

生産拡大に向けては、農業振興計画に基づき、「売り」を有する農産商品の開発に力を入れており、高歩留商品である**加工・業務用キャベツ導入を提案**しました。加工・業務用キャベツにおいては、大型鉄製コンテナで集荷することで、収穫・調製作業の大幅な省力化を実現し、生産性が向上し、作付面積の拡大に繋がりました。

その結果、2017年度に約1.2haであった加工・業務用キャベツの作付面積は、2019年度には約4haへと増加しました。

販売拡大に向けては、無条件委託販売を行っていた加工・業務用キャベツの**買取販売を実施**しました。販路拡大のため、直接販売の事業体制強化として、担当職員の増員や販売管理システムの導入、一次加工処理の実施に積極的に取り組みました。

その結果、2017年度は374万円であった買取販売高は、2019年度には1,171万円へと増加しました。

これらの取り組みにより、2017年度から2019年度にかけて、モデル担い手生産者において、**314%の所得増大を実現**しました。



※経営試算により、所得を計算



(加工・業務用キャベツの集荷の様子)



(加工・業務用キャベツの大型鉄製コンテナでの集荷の様子)

